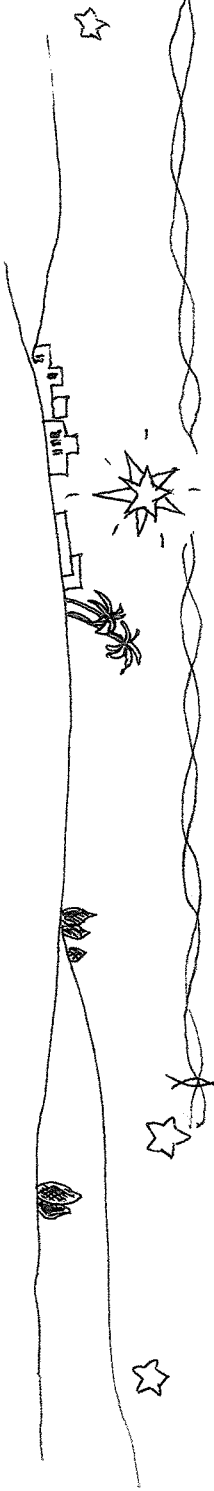


# いずみのひろば

2021年1月号

日本基督教団 聖公会  
No.504 教会学校



『最初のクリスマス』

ルカによる福音書 2:1~7

イエスさまがマリヤさんのお腹の中にいたときでした。「ふるさとに帰って住民登録しなさい。いと皇帝から命令がでました。マリヤさんにとつてもつらい旅ですが、命令に従わないといけません。ゆつくり、ゆつくり、ヨセフさんと一緒に何日も歩いてやつとふるさとベツレヘムに着きました。

ところがベツレヘムではどの宿屋も満員、泊まる場所がありません。あつたのは暗く汚い馬小屋だけ。馬やロバ、動物たちの居場所です。苦しい旅をしてやつとたどり着いた所は、安心して休める場所ではありませんでした。どんなに悲しく心細い夜だったでしょう。そんな馬小屋でイエスさまはお生まれになりました。

イエスさまが寝かされたのは、白いふかふかのベッドではありません。布にくるまれ、動物たちのえさを入れる飼い葉おけに寝かされただけでした。

どうしてイエスさまはこんなところでお生まれになったのでしょうか。かわいそうです。でもそれが神さまのお考えでした。

イエスさまが一番弱い小さなすがたで暗く悲しい馬小屋に来てくださったのです。もう暗く悲しい場所です。ひとりぼっちになる人はいません。イエスさまと一緒にいてください。救い主イエスさまはりっぱなお城ではなく、きたなくて暗い馬小屋でお生まれになったのはまずしさや弱さやいろんな不安をかかえた人たちといつも一緒にいて、平安をあたえてくださるためです。

暗い馬小屋にお生まれになった赤ちゃんイエスさまこそ、わたしたちの救い主です。

